令和７年度　基本評価調書	所管部局	環境生活部	所管課	地域安全課

施策名	交通事故のないまちづくり	施策コード	0302
政策の柱	安全・安心	政策体系コード	2(6)A
関連重点戦略計画等	北海道創生総合戦略、知事の基本政策	事務事業数	7
特定分野別計画	第１１次北海道交通安全計画		
SDGs		総合判定	概ね順調

予算額（千円）	R5	84,705千円	R6	90,548千円	R7	95,401千円

施策目標	交通事故死者数ゼロを目指し、第11次北海道交通安全計画に基づき、高齢者の交通事故防止及び飲酒運転の根絶等の課題について、関係機関と連携して幅広い年齢層に向けた交通安全意識の高揚と普及啓発を図り、悲惨な交通事故のない社会を目指す。
現状と課題	（交通安全意識の高揚） ・交通事故死亡者数は、減少傾向となっているが、65歳以上の高齢運転者が当事者となる交通事故のほか、年齢層別の死者数についても高齢者の割合が高いことから、高齢者の安全確保に向けた対策を推進する必要がある。 ・また、飲酒運転を伴う事故は、未だ根絶には至っていない状況であり、継続的な施策を推進する必要がある。

<主な取組>

今年度の取組	（交通安全意識の高揚） ・関係機関・団体等と連携し、歩行者や自転車利用者等のマナーアップに向けた啓発活動や交通安全教育により、道民の交通安全意識の向上を推進する。 ・高齢者の安全確保のため、交通安全教育や安全指導を実施するとともに、運転免許証の自主返納支援に関する情報提供や安全運転サポート車の普及促進の広報啓発活動を推進する。 ・飲酒運転根絶に向け、運転者ひとりひとりの規範意識を醸成する啓発活動のほか、飲酒運転を見逃さない社会づくりを推進する。
実績と成果	（交通安全意識の高揚） ・全道において、関係機関・団体、市町村等と連携して、年間延べ４０日の期別運動を実施し、交通安全意識の高揚を図った。（Ｒ６．９月、１１月、Ｒ７．４月） ・民間企業の協力を得て、高校生を対象に自転車の安全利用に向けた講習会（Ｒ７、３校）を実施したほか、自転車安全日をはじめとした啓発（Ｒ６．６件、Ｒ７．６件）を実施し、自転車利用者のマナーアップを推進した。 ・運転免許の返納をしやすい環境づくりのため、自主返納サポート制度を推進した。（協力事業者Ｒ７．７．１現在７２事業者３５７店） ・身体機能の低下が及ぼす影響の理解や安全運転の意識向上を図るため、市町村と連携し高齢運転者支援講習会を開催した。（Ｒ６．８月１件、９月３件、１０月２件） ・飲酒運転の危険性や飲酒が身体に及ぼす影響等を啓発するため、児童・生徒向けの教育パンフレットを作成し、小・中・高１年生に配布した。（Ｒ６．１１月、小学校９６０校、中学校５８３校、高校２７５校） ・飲酒運転根絶に向けた取組みとして、関係団体と連携しコンビニエンスストアに対し飲酒運転の疑いのある者を発見した場合の通報依頼（Ｒ７．４）及びポスター・ミニのぼり旗掲示依頼（Ｒ７．５）を実施したほか、ラジオ出演による呼びかけ（Ｒ７．５）等の施策を推進した。

参考HP①	交通安全の取組	https://www.pref.hokkaido.lg.jp/category/d007/c034/s127/index.html
参考HP②		
参考HP③		

令和７年度　基本評価調書	【2(6)A_0302】交通事故のないまちづくり

<指標分析>　*成果指標の基準　要件(1)：アウトカム指標、要件(2)：「施策目標」や「現状と課題」に直結、要件(3)：総合計画等に掲げる指標*

成果指標①	増減方向	減少	単位	過年度①	過年度②	最新年度	最終目標	達成率	判定
交通事故死者数（暦年）			人	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	128.8%	A（100%以上）
			目標値	134	134	134	134以下		
			実績値	115	131	104			

設定理由 *要件(1)(2)*	北海道の1年間の交通事故状況を示す数値であり、北海道をはじめ関係機関・団体等、北海道全体で、高齢者の交通事故対策や飲酒運転根絶など交通安全対策に取り組んだ成果を測る指標として設定。		
公表時期	毎年調査、翌年1月公表	根拠計画等 *要件(3)*	第11次北海道交通安全計画

分析（主な取組と成果）

関係機関等と連携した各種取組を継続的に行ったことにより、交通事故死者数は統計開始以降最少となったものの、交通死亡事故発生件数に占める高齢運転者の割合は半数以上となっており、飲酒運転に伴う交通事故も後を絶たないことから、関係機関と連携した高齢運転者の事故防止及び飲酒運転根絶に向けた各種取組を強化する必要がある。

成果指標②	増減方向		単位	過年度①	過年度②	最新年度	最終目標	達成率	判定
								－	－
			目標値						
			実績値						

設定理由 *要件(1)(2)*			
公表時期		根拠計画等 *要件(3)*	

分析（主な取組と成果）

成果指標③	増減方向		単位	過年度①	過年度②	最新年度	最終目標	達成率	判定
								－	－
			目標値						
			実績値						

設定理由 *要件(1)(2)*			
公表時期		根拠計画等 *要件(3)*	

分析（主な取組と成果）

成果指標④	増減方向		単位	過年度①	過年度②	最新年度	最終目標	達成率	判定
								－	－
			目標値						
			実績値						

設定理由 *要件(1)(2)*			
公表時期		根拠計画等 *要件(3)*	

分析（主な取組と成果）

成果指標⑤	増減方向		単位	過年度①	過年度②	最新年度	最終目標	達成率	判定
								－	－
			目標値						
			実績値						

設定理由 *要件(1)(2)*			
公表時期		根拠計画等 *要件(3)*	

分析（主な取組と成果）

令和７年度　基本評価調書	【2(6)A_0302】交通事故のないまちづくり

<取組分析（連携状況、緊急性・優先性）>

連携状況	（課題） ６５歳以上の高齢運転者が原因となった交通事故発生件数は、長期的には減少傾向にあったが、令和５年及び令和６年については令和４年と比較して増加している。また、飲酒運転を伴う交通事故も後を絶たないことから、関係機関、団体、市町村及び企業等と連携して施策に取り組む必要がある。 （取組と成果） 国、関係各部局、市町村及び関係団体と連携し、期別運動や飲酒運転根絶総決起大会等の啓発活動を実施し、交通安全意識の普及を図っている。 また、キリンビール（株）の協力による飲酒運転根絶街頭啓発（R6.8）、損害保険ジャパン株式会社と連携したシニアドライバー向け安全運転講習会の開催（R6.9）など、民間企業の協力を得て交通安全意識の高揚を図った。
緊急性・優先性	（課題） ６５歳以上の高齢運転者が原因となった交通事故発生件数は、長期的には減少傾向にあったが、令和５年及び令和６年については令和４年と比較して増加している。 （取組と成果） 市町村及び民間企業との連携による高齢運転者支援講習会の開催、北海道高齢者運転免許自主返納サポート制度の運用により、高齢運転者に対する交通安全教育や自主返納しやすい環境づくりを推進している。

<取組分析（その他統計数値等）>

その他統計数値等①	過年度①	過年度②	最新年度
	R4年度	R5年度	R6年度
高齢運転者（65歳以上）による交通事故発生件数	2,343件	2,520件	2,505件

（課題）

65歳以上の高齢運転者による交通事故発生件数は、平成27年の2,591件から増減を繰り返しながら緩やかな減少傾向で推移していたが、過去２年においては増加しており、今後も高齢化の進行が見込まれることから、高齢化社会を踏まえた総合的な交通安全対策を推進する必要がある。

（取組状況や実績、今後の見込みなど）	判定
北海道高齢者運転免許自主返納サポート制度を運用し、高齢運転者が運転免許の自主返納をしやすい環境づくりを推進するとともに、高齢運転者が身体機能の低下を自覚して安全運転をするための高齢運転者支援講習会の開催等、高齢化社会を踏まえた総合的な対策を推進する。	b

その他統計数値等②	過年度①	過年度②	最新年度
	R4年度	R5年度	R6年度
高齢運転者（65歳以上）による死亡交通事故発生件数（死亡交通事故発生件数に占める高齢者の構成率）	38件（36.9%）	31件（27.9%）	37件（38.1%）

（課題）

65歳以上の高齢運転者が原因となった死亡交通事故発生件数の構成率は3割前後となっており、高齢化社会を踏まえた継続的かつ総合的な交通安全対策を推進する必要がある。

（取組状況や実績、今後の見込みなど）	判定
高齢運転者が原因となった死亡交通事故発生件数は、減少傾向にあったが、令和６年には増加している状況であり、今後も高齢化が加速することから、継続的な交通安全対策が必要である。	b

その他統計数値等③	過年度①	過年度②	最新年度
	R4年度	R5年度	R6年度
飲酒運転を伴う交通事故件数	72件	86件	95件

（課題）

飲酒を伴う交通事故が後を絶たないことから、飲酒運転根絶に関する施策を総合的に推進する必要がある。

（取組状況や実績、今後の見込みなど）	判定
飲酒運転を伴う交通事故の発生は、長年減少傾向で推移してきたが、過去２年においては増加している状況であることから、飲酒運転の根絶に向けた対策の推進が必要である。	c

令和７年度　基本評価調書	【2(6)A_0302】交通事故のないまちづくり

<一次政策評価（実施機関が行う政策評価）>　※「指標判定」と「その他統計数値等」はそれぞれ指標等の平均を算出

指標判定	A	連携状況	○	総合判定	概ね順調
		緊急性・優先性	○		
		その他統計数値等	c		

■判定が「D」の成果指標
（該当なし）

	対応方針番号	内容
今後の対応方針	①	道民の交通安全意識の向上及び歩行者や自転車利用者等のマナーアップのため、継続的な交通安全運動や交通安全教育を推進する。
	②	高齢運転者の安全を確保するため、北海道高齢者運転免許自主返納サポート制度の推進及び高齢運転者支援講習会の開催など、高齢運転者の事故防止対策を推進する。
	③	飲酒運転を伴う交通事故が後を絶たないことから、「飲酒運転根絶の日」の決起大会開催など、飲酒運転根絶に向けた各種施策を継続的に実施する。

<二次政策評価（知事が行う政策評価）>

二次政策評価意見	

前年度の二次政策評価意見（区分）

<一次政策評価を踏まえた対応状況（３月末時点）>

	対応方針番号	内容
翌年度の対応状況	①	道民の交通安全意識の向上のほか、歩行者、在留外国人及び自転車や小型モビリティ利用者等のマナーアップのため、継続的な交通安全運動や交通安全教育を推進する。
	②	高齢運転者の安全を確保するため、北海道高齢者運転免許自主返納サポート制度の推進及び高齢運転者支援講習会の開催など、関係機関等と連携し高齢運転者の事故防止対策を推進する。
	③	飲酒運転を伴う交通事故が未だ根絶には至らないことから、ワークショップの開催や「飲酒運転根絶の日」の決起大会開催など、飲酒運転根絶に向けた各種施策を継続的に実施する。

<二次政策評価意見への対応状況（３月末時点）>

二次政策評価意見への対応状況	

令和７年度　事務事業評価調書	施策名	交通事故のないまちづくり	施策コード	0302

整理番号	重複施策	経費区分	事務事業名	事務事業概要	課・局室名	前年度からの繰越事業費（千円）	事業費（千円）	うち一般財源	執行体制 本庁	執行体制 出先機関	執行体制 人工計	フルコスト（千円）	一次政策評価 対応方針番号	一次政策評価 方向性	二次政策評価意見	３月末時点における対応 二次評価意見への対応状況	３月末時点における対応 翌年度の方向性
0652		一般	北海道交通安全推進委員会補助金	旧整理番号：0601 （公財）北海道交通安全推進委員会が実施する交通安全普及啓発事業等各種事業に対する補助	地域安全課		51,146	51,146	0.2	0.0	0.2	52,781			【事務事業のコスト】 関与団体に対する補助金等は、引き続き、道の施策推進上の必要性を検証し、意義が薄れた補助金、負担金及び交付金の縮減や、委託契約に係る競争性の導入の検討を行っていくこと。	北海道交通安全推進委員会は、交通安全運動を推進する中核団体として重要な役割を果たしており、今後も北海道交通安全計画を推進するうえで、幼児や高齢者の交通事故防止事業、飲酒運転根絶事業及び交通安全推進員による交通安全活動等を実施する同団体の活動は欠かすことができないことから、補助金を継続する。	
0653		一般	北海道交通指導促進事業費補助金	旧整理番号：0602 北海道交通安全指導員連絡協議会が実施する指導員研修会等各種事業に対する補助	地域安全課		7,229	7,229	1.5	0.0	1.5	19,492			【事務事業のコスト】 関与団体に対する補助金等は、引き続き、道の施策推進上の必要性を検証し、意義が薄れた補助金、負担金及び交付金の縮減や、委託契約に係る競争性の導入の検討を行っていくこと。	北海道交通安全指導員連絡協議会は、交通安全指導員による街頭での歩行者の指導等を行うなど道内の交通安全に多大に寄与してきており、今後も北海道交通安全計画を推進する上で、交通安全指導員による交通安全活動は欠かせないことから、補助金を継続する。	
0654		一般	交通死亡事故抑止対策事業費	旧整理番号：0603 交通死亡事故の抑止を図るための高齢者の事故防止及び居眠り運転事故防止に関する業務	地域安全課		1,228	1,228	0.9	2.2	3.1	26,571	①②	改善（取組分析）			改善
0655		一般	飲酒運転根絶推進関連事業	旧整理番号：0604 「北海道飲酒運転の根絶に関する条例」の制定等を踏まえ、社会全体で飲酒運転根絶に取り組むための事業	地域安全課		24,466	24,466	1.3	0.6	1.9	39,999	③	改善（指標分析）			改善
0656		一般	交通事故相談所運営費	旧整理番号：0605 交通事故被害者からの相談に対応する相談所の運営に関する業務	地域安全課		11,332	11,332	0.1	0.3	0.4	14,602					
0657		一般	運転免許自主返納促進事業費	旧整理番号：0606 高齢運転者が運転免許を自主的に返納しやすい環境づくりに関する業務	地域安全課		0	0	0.2	0.0	0.2	1,635					
0658		事務（0予算）	交通安全対策の企画及び実施に関する事務	旧整理番号：0632 交通安全に関する計画策定、関係会議・協議会等の開催、運動の推進方針の企画・実施、庁内及び関係機関との調整、交通事故統計及び情報提供、年次報告書等作成、紹介調査・報告、調査統計業務に関する事務	地域安全課		0	0	1.8	7.1	8.9	72,758					
計						0	95,401	95,401	6.0	10.2	16.2						